

第8回 大崎市総合教育会議

日 時 令和2年1月9日(木)

午後1時30分から

場 所 大崎市役所 東庁舎5階 大会議室

次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 議 題

報告事項

第1号 放課後児童クラブサテライト室の緊急時の対応について

【子育て支援課】資料1

第2号 通学時の安全対策について【防災安全課】資料2

協議事項

第1号 地域でがんばる若者の人材育成

「(仮称)おおさき未来塾と地域の連携」について【生涯学習課】

資料3～6

4 その他

5 閉 会

第8回大崎市総合教育会議 出席者名簿

(敬称略)

所 属	職 名	氏 名	備 考
大崎市教育委員会	教 育 長	熊 野 充 利	
大崎市教育委員会	教育長職務代理者	青 沼 陽 一	
大崎市教育委員会	委 員	若 見 朝 子	
大崎市教育委員会	委 員	佐 藤 寛	
大崎市教育委員会	委 員	堀 智恵子	
大 崎 市	市 長	伊 藤 康 志	

職 名	氏 名	職 名	氏 名
副 市 長	高 橋 英 文	副 市 長	三保木 悦 幸

教育部

部 長	佐 藤 俊 夫	参 事	佐々木 晃
教育総務課長	尾 形 良 太	学校教育課長	遠 藤 富士隆
生涯学習課長	高 橋 和 広	文化財課長	鈴 木 勝 彦
中央公民館長	中 川 早 苗	学校教育課副参事	田 中 政 弘
教育総務課長補佐	大 場 宏 昭	学校教育課長補佐	佐 藤 康 幸
生涯学習課長補佐	高 橋 泰 彦	文化財課長補佐	高 橋 誠 明
中央公民館副館長	佐々木 哲 也	生涯学習課主幹兼係長	菊 地 孝 志
生涯学習課社会教育主事	滝 田 誠		

総務部

部長兼政策推進監	佐々木 雅 一	理事兼財政課長	赤 間 幸 人
危機管理監	櫻 井 俊 文	防災安全課長	三 浦 利 之
防災安全課長補佐	菊 池 勝 行		

民生部

部 長	安 住 伸	子育て支援課長	宮 野 学
子育て支援課長補佐	長谷川 崇		

市民協働推進部

部 長	門 脇 喜 典	参事兼政策課長	渋谷 勝
まちづくり推進課長	今 野 靖 夫	政策課長補佐	高 橋 学
まちづくり推進課長補佐	松 岡 治	政策課主幹兼係長	氏 家 伸 一
まちづくり推進課主幹兼係長	鈴 木 輝 彦		

放課後児童クラブサテライト室の緊急時の対応について

古川第3小学校、第4小学校敷地内への放課後児童クラブサテライト室の建設と事業運営にあたり、学校とは事前協議を行い、放課後児童クラブでの生活時間内に児童が校庭などで怪我を負った場合、放課後児童クラブ側で責任をもって対応することを前提に、敷地内への建物建設と事業運営を許諾いただいております。

これまでも、空き教室を利用させていただいておりますが、事前協議あるいは事業開始後に、緊急時は柔軟に協力していきましょうとなる場合もある一方で、責任の所在を明確にするため、放課後は一線を引いてほしいという場合もあるため、怪我等の緊急対応を学校にお願いする前提で協議は行っていないのが現状です。

今年度新設した、放課後児童クラブサテライト室での生活において、児童の怪我等の発生状況は、それぞれ1件ずつの2件となっておりますが、児童が怪我等を負った場合は、市内放課後児童クラブ共通の手順書に基づき対応しております。

事故やケガ等の発生防止策として、子どもたちへの安全配慮に向けた声かけと事故要因の排除を心掛け、万が一の場合は、応急処置、状況把握、保護者への連絡、場合によっては病院への搬送、あるいは救急車の要請を行うこととしており、その後、原因の究明と再発防止策を現場職員間で共有し子育て支援課への連絡を義務付け、再発防止に向けた情報共有を行うこととしております。

各小学校とは、引き続き、子どもたちの健全育成に向けて、日常的に情報共有を図りながら、必要な協力体制を維持してまいります。

報告事項

第2号 通学時の安全対策について

防災安全課

1 防災安全課としての取り組み

安全確保の取り組みとしては、カーブミラーや注意喚起用の看板設置及び防犯パトロールを実施しておりますが、危険箇所について関係機関などと情報共有を図りながら、より効果的に実施してまいります。

また、交通事故防止の取り組みとしては、春と秋に交通安全運動や交通指導員による交通安全教室を実施しておりますが、交通安全の意識高揚を図るため、より一層の充実に努めてまいります。

2 大崎市通学路等安全推進会議について

市内小中学校の通学路の安全確保に向けた取組について、関係機関が連携し、継続的に推進するために「大崎市通学路等安全推進会議」を設置しています。

(1) 所掌事項

- ア 通学路の危険把握に関すること
- イ 通学路の危険箇所に対する対策に関する協議を行うこと
- ウ 関係機関相互の連絡調整及び情報交換を行うこと

(2) 関係行政機関

ア 警察機関

宮城県古川警察署，宮城県鳴子警察署

イ 国の機関

国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所古川国道維持出張所

国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所鳴子国道維持出張所

ウ 県の機関

宮城県北部土木事務所

エ 市の関係部署

総務部防災安全課，建設部都市計画課，建設部建設課

各総合支所地域振興課，教育部学校教育課

3 通学路だとわかる注意喚起の仕方について

市内小中学校の通学路の安全確保に向けた取り組みについては、上記のとおり関係機関が連携し継続的に推進するため「大崎市通学路等安全推進会議」を設置し、通学路の危険箇所の把握・通学路の危険箇所に対する対策に関する協議・関係機関相互の連絡調整及び情報交換を行うこととしております。

当該会議を通じ、通学路上の危険箇所に関し情報共有を行いながら調整を図ってまいります。

4 道路の植栽について

通常の維持管理において、通行時における視界の確保を図りながら対応しているものでありました。道路管理者が国や県であった場合には、関係機関へも取り次いでおります。

今後も、関係機関を含め情報共有に努めながら、また「大崎市通学路等安全推進会議」の場を活用し調整を図りながら対応してまいります。

地域でがんばる若者の人材育成 (仮称)おおさき未来塾 概要

大崎の豊かな宝・資源に関する学びと交流の機会を提供しながら、地域でがんばる若者の人材を育成するため(仮称)「おおさき未来塾」を立ち上げるものです。

(仮称)おおさき未来塾

きっかけづくり

集う

おおさき見る知る伝うプロジェクト

SNSに投稿するため各地域を訪れ宝探しをする。その過程の中で「ひと・もの・こと」に触れ地域交流が生まれる。

《取組目標》

- ・大崎市の魅力発信
- ・大崎市をフィールドにした事業展開

《取組内容》

- 令和元年度～2年度

SNSによる大崎市の魅力を発見し、どんなジャンルに関心があるか探る。

☞写真・動画・コメント投稿

(仮称)おおさき未来会議

大崎市の未来を自分のこととして考えるため、若者が集える場をつくる。

《取組目標》

- ・理想とする大崎市の将来像を実現するためのアイデアを考える
- ・若者のまちづくりに対する意識の醸成
- ・若者同士の交流による「つながり」の強化

《取組内容》

- 令和元年度
 - ☞未来会議の体制検討と立ち上げ準備
 - ☞人材の掘り起こし
(高校生、大学生、ジュニアリーダーOB、青年文化祭実行委員、社会人等)
 - ☞人材リストの整理
- 令和2年度
 - ☞(仮称)第1回おおさき未来会議の開催

地域でがんばる若者の人材育成

おおさき見る知る伝うプロジェクト 取組状況

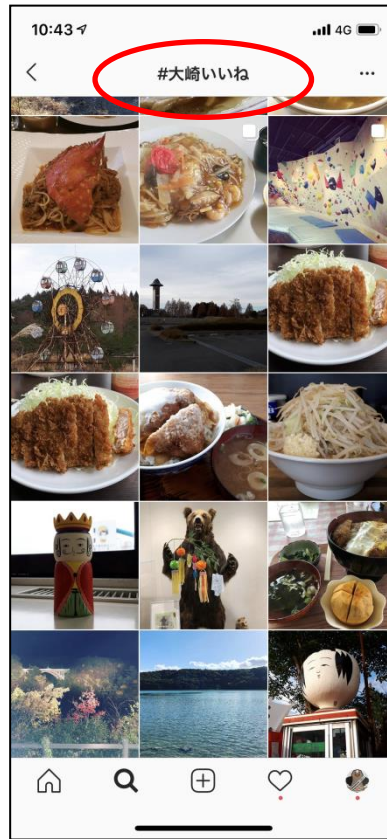
大崎市内を訪ね歩き、知った風景、食べ物、建物などをInstagramに投稿し、地域のステキな「ひと」「もの」「こと」をみんなで再認識・発見するため「おおさき見る知る伝うプロジェクト」をはじめます。



①ホーム画面



②検索画面

③投稿画面
一覧④投稿画面
詳細

⑤コメント拡大画面

sato.pro他が「いいね!」しました
osaki.ed 岩出山駅でトランスイート四季島のお見送りをしました。
#大崎いいね #宮城県 #大崎市 #大崎市岩出山 #jr東日本 #クルーズトレイン #豪華列車



Instagram「#大崎いいね」で投稿する。

※Instagramは、Facebookが提供している無料の写真共有アプリケーションです。

地域でがんばる若者の人材育成 (仮称)おおさき未来塾 事業展開

実践

目標

おおさき「見る知る伝 う」プロジェクト

☞若い世代に関心をもつてもらうためInstagramで視聴的、直感的なアピールをする

◎集めた素材を利用した活動(案)

- a. 投稿素材からの写真展の開催
- b. ホームページやガイドブックへの活用
- c. YouTubeによる大崎市の魅力・定住へのPR活動
- d. 街の魅力の再発見・可視化
- e. 婚活イベント
- h. オフ会の開催

(仮称)おおさき未来会議

- ☞取組 令和2年度
- ☞対象 主に16歳(高校生)~29歳の方を対象とする
- ☞参加費 無料
- ☞定員 20名程度
- ☞内容

・テーマを設けると共に、メンバーの「アイデア」から生まれた新たな“何か”を創出し活動していく

・年数回程度のカリキュラム(イベント等での実践体験あり)

繋がり

ノウハウを学ぶ

◎関係団体との連携(アドバイス)

1. 青年会議所や商工会青年部
2. JA青年部
3. NPO
4. まちづくり協議会 等

地域団体や関係機関で進めている人材育成事業



連携



広がり

地域でがんばる若者の人材育成

- a. 地域イベントの参画
- b. 地域魅力の掘り起こし
- c. 若者同士の仲間づくり
- d. 地域学校協働活動
- e. 地域に貢献することで郷土愛を育む

SNSによる魅力発信やハッシュタグの有効活用

一緒に活動しながら地域との交流を深める

地域でがんばる若者の人材育成

(仮称)おおさき未来塾と地域の連携について

